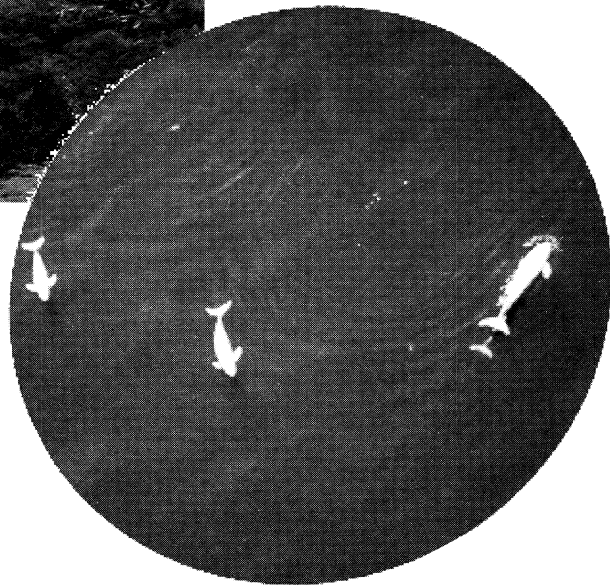


山口県上関町長島は究極の楽園

上関原発建設に向けた詳細調査から、瀬戸内海の原風景を残すこの海を守ろう



上関原発建設予定地とその近くの海を泳ぐ
スナメリの親子



目次

究極の楽園長島（上関原発予定地）	1-3
アサリ漁場創出の実態	4
瀬戸内海再生フォーラム in 大分	5
ハギの煮付け（愛媛県長浜町）	6
豊島からの近況報告	7-8
アースデイかがわ in 豊島	9
寒霞渓トラスト（香川県小豆島）	10

緊急発進!!

「究極の樂園長島（上関原発予定地）」を詳細調査による破壊の手から守ろう ～中国電力&山口県知事への抗議行動を集中しよう～

長島の自然を守る会代表 高島美登里

風雲急を告げる上関原発情勢

2001年6月11日に上関原発計画が国の電源開発基本計画に組み入れられてから2年目。半ば膠着状態であった情勢は、4月27日の町長選を境に大きく動き始め、予定地周辺の「究極の樂園 長島」の自然環境・生態系が危機にさらされている。

① 神社地売却に反対の宮司解任

町長選に符牒を合わすかのように神社本庁は、3月17日、1号機炉心部分を含む10万平米の四代正八幡宮神社地売却を拒んでいた林宮司を解任した。2000年10月に氏子総代が解任要請をして以降、長島の自然を守る会も「四代八幡宮神社地(上関原子力発電所建設予定地)を手付かずのまま保存する要望書」を提出し、神社本庁申し入れなど行ってきた処である。表向きは「氏子の離反とともに神社運営にも支障を来し、ひいては神社への信仰、信頼への喪失にもつながりかねない。」という理由だが、町長選で候補者が3人乱立し、一本化に手間取り、出遅れた推進派陣営への起爆剤になったことは間違いない。

② 四代地区共有地入会権で勝訴

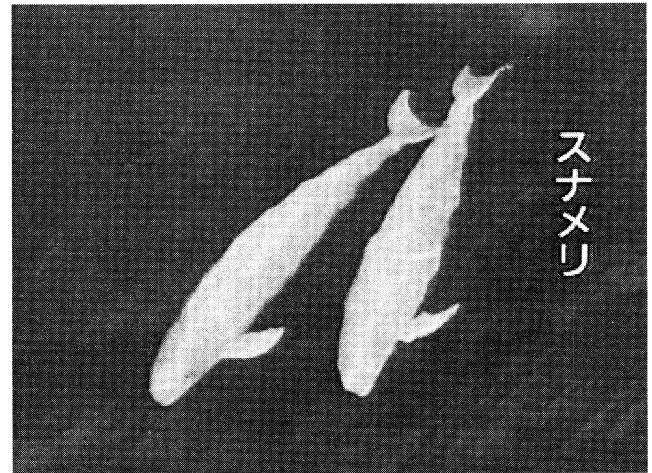
一方、炉心予定地にある四代地区共有地について、反対派住民が起こした所有権移転登録の無効と入会権の確認を求めた裁判では地裁岩国支部は入会権を認め、中国電力による立木伐採を禁じた。反対派は所有権移転登録無効を有効としたことに、推進派は入会権確認を不満とし、それぞれ控訴している。

③ 町長選での反対派敗北

四代地区共有地裁判での入会権勝訴の喜びもつかの間、原発立地を巡る選挙として全国的にも注目を浴びた町長選は推進派2,001:反対派1,458で敗れ、涙を吞んだ。

その後、推進派後援会長の現職町議と運動員2名が数万円を渡し投票依頼をしたとして公職選挙法違反で逮捕された。5月21日の拘留期限切を前に検察の動きに関心が集まっている。起訴・有罪が確定すれば、連座制適用で町長失職、略式起訴であれば町議辞職・町議補

選という流れになる。5月16日、町議は辞職願いを出し、町議補選は7月13日に内定した。



神社地取得後、早期に「詳細調査」?

町長選での推進派勝利を受け、2007年度着工を目指し、中国電力は、林宮司の後任である宮成宮司と用地取得交渉に入る。宮成宮司は「神社地の扱いは白紙」としながらも売却を求める推進派氏子の要望に沿う形で用地取得につき中電側から説明を聞く意向を示しており、早ければ7月に海上から建設予定地を視察する予定だ。

神社地取得交渉が成立すれば、中国電力は、原子炉設置許可申請のための手続きとして、安全審査のための「詳細調査」に入るとしている。「他の土地からでも調査に入れる」と係争中である四代地区共有地を後回しにしても、調査に踏み切る意向だ。

これに対し、山口県知事は、4月15日の会見で「安全審査のための詳細調査なら断る理由はない」とし、係争中の土地を除く部分の調査については認める意向を明らかにした。加納町長も「詳細調査」を容認する姿勢を表明している。

このような異常とも思える調査強行には背景がある。2000年9月中国電力は、当時の片山町長と総額36億円の寄付をする覚書を交わしており、実際の支払い時期について2003年度電力供給計画発表の席上「詳細調査

に入っ来ないと無理」と言明した。町長選のもう1つの起爆剤として神社地取得＝「詳細調査」着手＝寄付金支払いの道筋を明確にする必要に迫られたことがあろう。

「究極の楽園」長島の素晴らしさ

「究極の楽園」とは中国電力の原発予定地山口県熊毛郡上関町長島のニックネームである。この最大級の賛辞が誇張でないことは、名付け親が国内外の著名な研究者たちであることが物語っている。

その主な特徴点は3つ挙げられる。

①まず瀬戸内の「原風景」を残していること。

文字通り、白砂青松の美しい渚と島並みに彩られた瀬戸内海は、1960年代からの経済開発により環境破壊と汚染で覆い尽くされた。長島は奇跡的に開発の魔手を免れ、他地域では絶滅に瀕している生物が健在なのである。



ハヤブサ

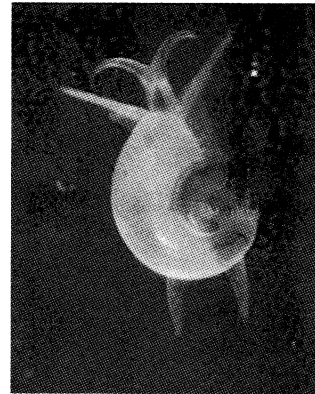
(i) 小型クジラのスナメリ(水産庁 R.D.B.希少種)は1970年代初頭瀬戸内海全域で5,000頭が確認されたが、1997~1999年には15%の750頭に減少し、天然記念回遊水面指定の竹原市でさえ、海砂採取により絶滅した。唯一予定地周辺の祝島~平群ルートのみ20年前と同レベルの生息数で出産・子育ての場所でもある。

(ii) ナメクジウオ(脊索動物)も天然記念物指定地、愛知県蒲^{がまごおり}郡市大島・広島県三原市有^{うぶ}龍^{りゅう}島^{しま}でほぼ絶滅したが、当海域では私たちの調査でも多数確認した。

(iii) ハヤブサは1990年代に入り全国で200~300^{つがい}番に減少したが、予定地沖500mの鼻^{はなぐりしま}線島に営巣している。

②豊後水道から流入する黒潮の影響でアマクサウミコチヨウ・ヒラドサンゴヤドリなど外洋性暖流系の海生生物が多く「瀬戸内の小さな太平洋」的様相を呈していること。

③世界的に希少な海生生物の宝庫であること。



(i) 巻貝の系統学上、始祖鳥的価値を有する、ヤシマイシン近似種(上の写真)

(ii) 世界で1個体しか発見されていない、ナガシマツボ

(iii) 幕末に貝類蒐集の大家、英人アーサー・アダムス氏が発見して以来、130数年ぶりに生貝が再確認されたチリメンクチキレ

(iv) 新種シダイタノウラクチキレ——など枚挙に暇がない。

環瀬戸内海会議第12回総会(2001年)を上関で開催した際、現地視察に参加された皆さんもスナメリの群れを目撃したり、生物の多様さ・豊穡さに驚嘆しておられた。

生態学会中国四国地区会が反対決議

「詳細調査」につき、中国電力は全体計画の概要を明らかにしていないが、手続き的には以下の通りとなる。

「詳細調査」では炉心部から周囲30キロの範囲で、活断層の有無などを踏査や文献調査で調べる。約100カ所をボーリング掘削し、特に原子炉予定地の真下は直径約2メートル、深さ十数メートルの穴を掘る。約2年間かかると思われる。

2000年より長島の自然環境・生態系の貴重な価値に着目し、生物調査を進めてきた日本生態学会は2000年度・2001年度と2度にわたり、環境アセスメントのやり直しと保全を要望する決議を行った。しかし、環境アセスメントについては、再三の要望を無視し、2001年7月15日、国の電源開発基本計画組み入れと機を一に、環境影響評価書が確定されるという経過を辿った。

日本生態学会中国四国地区会は、5月18日の第回4

7総会において、事態の緊急性に鑑み、「詳細調査」反対と環境アセスメントのやり直しを求める決議を急遽行った。(以下決議文案より)「ボーリング調査とはいえ、炉心予定地では最大で直径2メートル、深さ 10 数メートルにおよぶ穴を開ける大がかりな工事であり、その範囲は予定地を中心とする半径 30 キロの範囲におよぶ。掘削用機械の搬入と設置がどのようになされるかの詳細は公表されていないが、ボーリング調査の準備と実施による振動と騒音、水質への影響をとおして、生態系の微妙なバランスの上になりたっている海生生物や陸上生物にどのような影響があるかについて、科学的評価がなされていないことは、前述の通りである。したがって、この詳細調査によって建設予定地とその周辺のハヤブサ・スナメリ・ナメクジウオ・ヤシマイシン近似種などの希少貝類・カサシヤミセン・アカウキクサなどを含む湿地・キンランなどの生育する照葉樹林などにどのような影響が出るのかもまた不明であると言わざるをえない。予定地の自然の価値にみあう環境影響評価が完了していない現状では、次の段階に進むことは容認できない」とし、以下3点を申し入れるとしている。

「1. 中国電力(株)は、上関原子力発電所の環境影響評価を方法書の段階から科学的なものとしてやりなおすとともに、再アセスメントが完了するまでは、予定地の自然環境と生物多様性に悪影響を与えるおそれがある詳細調査などの次の段階に入らないこと。

2. 上関町および山口県は、予定地の生物多様性の貴重さに鑑み、予定地の自然が破壊されないことを確認した上でなければ、詳細調査に必要な許認可を事業者に与えないこと。

3. 監督官庁は、予定地の生物多様性の貴重さに鑑み、予定地の自然が破壊されることがないように必要なあらゆる措置を講じること。」

詳細調査反対の世論を巻き起こし、白紙撤回を！！

今回の「詳細調査」は二重の意味で犯罪的である。

1点目は、中国電力が建設着工には四代地区共有地の他にもハードルがあるのに、目途も立たないうちから「勝訴を前提に」強行しようとし、それを行政が追認している点である。

漁業補償については2000年4月、共同漁業権管理員会を構成する8漁協のうち7漁協(祝島漁協を除く)と締結

された補償契約は不当であるとして、祝島漁協は受取拒否を通告した。そして直ちに契約取消しを求め提訴し、現在地裁岩国支部で係争中である。殊に①法人格を有しない管理委員会が法人格を有する漁協の意思決定を拘束できるのかが疑問であるほか、②知事の許可漁業につき、従事者と契約を締結していない事実が明るみに出るなど、争点は有利な展開を見せている。

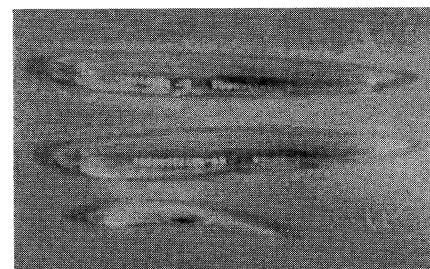
また、住民合意についても、4月の県議会議員選挙で上関町を含む熊毛郡から、初めて反原発候補が当選し、従来の住民アンケートの結果(原発反対が賛成を大きく上回っていた)を証明した。

2点目は、日本生態学会や同中国四国地区会などの専門家の意見を無視した杜撰なアセスメントで、山口県知事や当時の通産大臣に再調査まで求められながら、長島の自然環境・生態系の貴重な価値に対する配慮が一顧だに払われていない点である。単なるつじつま合わせのために、平然と破壊行為を行う中国電力と、それを容認する行政の態度には怒り心頭に発するものがある。

長島の自然を守る会としては、5月9日に神社本庁、5月29日に県神社本庁・四代八幡宮宮司に神社地を売却しないよう求める申し入れを行った。今後、県知事・中国電力へも詳細調査反対の申し入れを予定している。

申し入れに実効力を持たせるには、世論の高まりが不可欠だ。今後、詳細調査反対の集会・シンポジウム等、情勢をにらみながら対抗手段を講じ、中国電力・山口県知事を包囲し、詳細調査着手をなんとしても食い止めねばならない。また、各分野の専門家と連携した生物調査で、長島の貴重な価値を実証していくことも不可欠だ。

現地視察ツアーも例年以上に頻繁に実施する予定であり、是非、長島の素晴らしさを直接、じかにご覧頂きたい。かつての瀬戸内海が持っていた原風景をひっそりと守っている生物達に会えるはずである。そして彼らの声無き声が聞こえるはずである。



ナメクジウオ

アサリ漁場創出の実態（広島県福山市）

環瀬戸内海会議顧問 古澤昭

4月、地元の新聞は、福山市横島沖で進めている県干潟造成工事が、周辺漁協の抗議で中断されたことを報じた。この工事は、横島と尾道市百島との間の幅850m、最大深27mの海底に、基部400m、沖だし320m、高さ2mの石の堰堤を築き、その中に福山港の浚渫へドロを捨て、表面を薄く山土か海砂かで覆う工法で、名目はアサリ漁場の創出である。持ち込むへドロは海底に着床するまでに大量のものが拡散し、海底に着床したのも、潮流で短期間に流出して汚染を拡散する。

実は、この工事を止めさせる相談を2月に横島の隣の田島漁協から受けて、役人の人事異動が落ち着く4月下旬を動く時期としていた。影響を受ける周辺漁協の承認を得ていなかったのと、ノリ養殖が盛んで最大の被害が予想される田島漁協組合長の話を聞いた地元の自民党県議が動いたために幸いに工事は中断されたが、計画が放棄されたわけではない。

計画水域の対岸、尾道市浦島漁協（浦崎、百島）は、昭和50年代にアサリの漁場面積を増やしてやるとの県の申し出を受けて松永湾の浚渫へドロを受け入れたために、アサリの上を歩いたというほど海岸に沢山いたアサリが、ほとんど壊滅した地区である。僅かにとれるアサリも、地元の人には臭くて気持ちが悪くと言って食べない。

国土交通省、中国地方整備局、広島港湾空港工事事務所は、A4版8頁のパンフレット『干潟の再生』で干潟の役割を解説し、この地域の航空写真、施工図に他地区で撮ったと思われるトビハゼ、水鳥、野鳥の会の撮影風景、藻場の写真を入れて、この地区が成功したかのような資料を作り、人工干潟の宣伝に使っている。いわゆる自然再生事業に、厳しい監視の目を向ける必要がある。

なお、横島漁協には、全運輸省港湾建設労働組合広島港支部から、『海洋環境を守り、防災に優れた社会資本の整備、国民本位の港湾、空港行政を求める請願書（団体署名）についてのお願ひ』と共に、請願書の記入例が送付されていた。



百島の人工干潟(上) 生育途中で死んだアサリ(下)

愛媛県の場合、愛媛新聞(2003年2月21日)では以下のように伝えている。

中国四国農政局愛媛統計情報事務所のまとめでは、2001年の県内漁獲量は、アサリ類4トン、セトガイ(イガイ)2トン、バカガイ(西条・新居浜地方などでは「トリガイ」と呼ぶ)1トンと、四半世紀前(1967年)の600~1,000分の1以下に減った。

バカガイやアサリについては県内市町村や漁協などが放流(2001年度はバカガイ計40万個、アサリ計825万個=県まとめ)を実施しているが、漁獲量激減には歯止めがかからない。放流した貝の成長途中でのへい死も指摘されている。

県内の大手スーパーは「季節にもよるが、アサリの八割がたは中国や韓国産」

環瀬戸内海再生フォーラム in 大分

「里海の再生を願って」取り戻そう青い海、緑の島々 改正しよう瀬戸内法
環瀬戸内海会議（岡山県備前市） 小西良平

3月15、16日と大分県で瀬戸内再生フォーラムin大分が開催され、岡山から山本さんと小西が参加したので報告します。

1. 瀬戸内再生フォーラムin大分(3/15 コンパルホール)

(1).瀬戸内法改正プロジェクトの説明

(環瀬戸内海会議 山本安民)

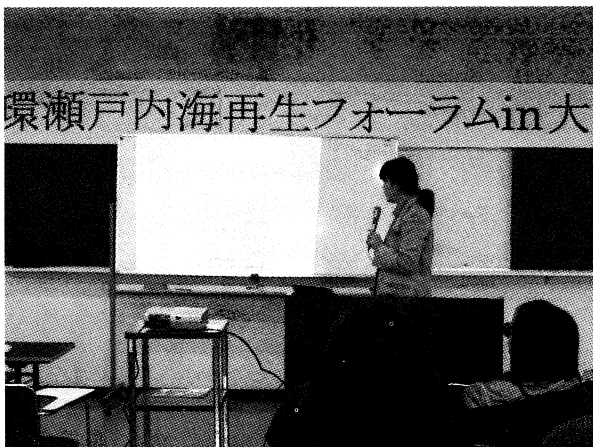
瀬戸内法改正へ向けたプロジェクトの取り組みについて、脇山さんのスライドを中心に現行「瀬戸内法」の問題点と改正の必要性を説明した。

(2).講演（東京大学 清野聡子）

「大分の海の活動が開いた海岸・沿岸環境政策の展開」と題して、大分での住民運動との関わりと住民参加の環境政策のありかたについての講演であった。

(3).大分県各地からの報告

- ①彦島の海のヘドロ被害と漁業者の公害闘争勝利について(彦島の海を守る会)
- ②湾岸整備事業、大入島石間埋立計画(佐伯の自然を守る会)
- ③八坂川の河川改修その後の報告(八坂かっぱクラブ)
- ④中津干潟の素晴らしさを伝えるために・・・
(水辺に遊ぶ会)



以上の報告がありました。大分県においても様々な問題があり地元の人々が環境保全のために活動していることを再認識し勇気づけられた。中でも中津干潟の活動は、多くの人を巻き込んだ楽しい活動になっているように感じた。

また、夜は竹瓦温泉前の竹瓦横町で地元の人と楽しい食事と別府の里海再生について意見交換ができた。

2. 大分・別府の港湾や海岸整備の現場見学(3/16 午前)



日名子さんの案内で、別府で唯一自然海岸の残っている上人ヶ浜や、その他の無惨な垂直護岸とテトラポッドの海岸線を見た。

次に大分市の田ノ浦人工ビーチを見学。この人工海岸は整備事業費51億円で2000年に完成したが、砂の消失で浜に1.2mもの段差(崖)が出来ていたり、明石の大倉海岸と同じような陥没穴が発生したりとそうした維持管理費がかかっているとの話であった。また景観面でも南国の海岸をイメージ(事業者の安易な発想)したのか、日本の海岸に似合わないヤシ類が植えられていた。

3. 佐伯市の集会(3/16 午後)

佐伯に行く車の中から見た海岸線はいい磯(魚や貝類の豊富)連続しているように見えた。しかし、集会でのオオハタパール(有)社長の興人より排出されたヘドロ浚渫によるアコヤ貝の大量死と公害調整での裁判闘争勝利の話。さらに彦島の藻場造成事業と称したヘドロ投棄や大入島石間海岸の埋立て等により魚介類にも影響を及ぼしているとの地元の話をきいた。私企業(興人)の廃棄物を税金で後始末し、埋め立てによる環境破壊を行い、漁業資源も激減させるというようなことが行われていることを知った。

4. 感想

自然海岸も少なく、海の汚染も進んだ播磨灘に近い岡山県東部で生活している私としては、大分・佐伯などきれいな海と出会えると期待していたが、各地で色々な海の環境破壊が進んでいることを知り、環瀬戸内法が進めている「脱埋立て」での瀬戸内法改正の取り組みの必要性を再認識した。

最後に今回の大分集会の準備やお世話をしてくださった地元の人たちに感謝しております。

漁港が反対する小型船だまり（漁港）造成事業 ハギの煮付け（愛媛県長浜町）

環瀬戸内海会議代表 阿部悦子

阿部悦子のホームページ「悦子の日々便り」より

<http://www.jade.dti.ne.jp/~s-hiroba/>

今日の昼食は、長浜町のカネヤ食堂で新鮮な丸型のハギの煮つけ定食をいただいた。何とこれが 1,100 円という安さ。こんなにおいしいハギは、正直、生まれて初めて食べた。今治も、新鮮な魚で有名な町だけど、こんなにおいしいハギは、何度も言うようだけど初めてだった。ホントはビールが飲みたかった。

今日長浜に来たのは、漁民が反対をして、漁協が反対決議をあげている「漁港」の工事が進んでいると聞いたからだ。県の事業「長浜地区小型船だまり造成事業」である。

長浜はその名のとおおり、長い自然海岸が続く、美しい海の町であった。この海岸の埋め立てが始まったのは、およそ 30 年程前から。今では子ども達の泳ぐ場所さえなくなった。



現在の漁港。新港の埋立完了時にはこの海を埋め立てる計画

漁協の人に話を聞くと、今、漁船が係留されている内港に、漁師の人たちは何の不便も感じていないと言われる。むしろ、今の港を埋め立てて、新しい漁港を造ることにこそ、不安を感じているというのだ。北または西からの風が強いこの港は、入口が狭く、時化た日には危険でとても使えないという。また、30年間も続いた埋め立て事業のために、浅海域の藻場を失って



漁協職員の方といっしょに。後ろに広がるのが造成中の「小型船だまり」

きたことが、漁獲高を減らした大きな要因であることから、もうこれ以上の埋め立ては、漁業振興にとって、大きな弊害以外の何ものでもないのだと言われる。

自然海岸を失い、漁獲高を減らして、危険な漁港を造ることを続けてきた愛媛県行政の罪は重い。

県は、漁業をする人々の「要らない上に、危険だ」との声を聞いて、すぐに工事を中止するべきだ。40 億円もの事業、昭和 58 年から始まり、平成 18 年を目途にすすめられているこの事業は中止をして自然海岸を復元するべきだ。

こんなにおいしいハギが、こんなに安い値段で食べられるこの町は、発想を転換することによって、いっそうすばらしい町に生まれかわれるはずだ。

土建行政に真正面から異議を唱える長浜漁協の皆さんの運動を応援していきたい。



豊島からの近況報告

香川県議会議員 石井亨

2000年6月6日の調停条項に基づいて廃棄物処理施設の建設が進められています。

この間、中間処理プラントの建設現場での転落死亡事故。中間保管梱包施設での転落重傷事故などを経験しました。さらに一方では、汚水の浸出による想定外の掘削、揚水井の設置。トレンチの機能不全の改善。被服シートの破損や廃棄物中の汚水の流動による設計の一部変更。強風による排水溝の破損と設計変更。揚水ポンプの停止による瀬戸内海への汚水流出事故などなどたくさんの障害を経て今日に至っています。

廃棄物の無害化は極めて困難な事業であると改めて痛感します。

その後、

3月には第1沈砂池の水質が基準値を超過し、

4月14日 コンベアの詰まりにより梱包施設一時停止

4月22日 コンベアの詰まりにより梱包施設一時停止

4月28日 生石灰混和中に廃棄物自然発火

5月2日 侵入者により器物損壊・盗難事件発生

5月7日 高度排水処理施設機能低下

5月19日 労災事故発生

5月23日 第1沈砂池のCOD超過

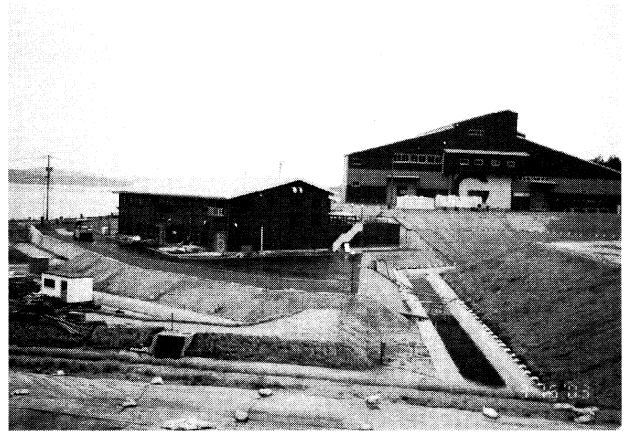
5月27日 コンベアの詰まりにより梱包施設一時停止

と、トラブルは後を絶ちません。

事業そのものの安全性はもとより、心配されるのはそこに働く従業員の労働安全衛生環境が問題となりますが、現在はこの労働安全衛生について評価する機関さえ設置されておられません。5月22日に香川県に対して別紙申し入れを行っておりますが、全く予断を許さない状況の中での引き渡し性能試験となっています。

弱い者にしわ寄せすることで当面する困難を乗り切るようなことだけはあってはなりません。特に、引き渡し性能試験及び本格操業は、「止めるわけにはいかない」という心理と、議会からの「コストダウン」の要求の中での事業となります。

今後はさらに難しい監視作業になります。是非ご支援ください。



現場には、廃棄物に汚染された水を処理する高度排水処理施設と廃棄物をトラックコンテナに積むための中間保管・梱包施設、特殊前処理物処理施設が建設されている。



1日2回、廃棄物専用輸送船太陽が、直島にむけて不法投棄産業廃棄物を運んでゆく。今後10数年という長い長い航海の始まりを感じる。

ホームページのご紹介

菜の花バスプロジェクト

<http://www.teshima.ne.jp/nanohana/>

公共交通機関のない島に「バス」を走らせることができたならば・・・そんな夢を菜の花に託したい。菜の花を咲かせ、油を搾り、廃食油でバスを走らせる。

瀬戸内の小さな島の大きな挑戦です。

廃棄物対策豊島住民会議

<http://www.teshima.ne.jp/>

廃棄物対策豊島住民会議

議長 砂川 三男

議長 増子 征夫

議長 向井 正

引渡し性能試験にあたって

第 12 回技術委員会の報告では、掘削作業時における空気中のダイオキシン濃度が高く、管理濃度基準値 2.5pg-TEQ/m³ より数倍高い値が見受けられます。

この数字に「廃棄物の焼却・溶融施設内作業におけるダイオキシン暴露防止対策要綱」に示された管理区域を当てはめると相当嚴重な暴露防止対策が必要となります。

同要綱には、豊島廃棄物掘削現場のような野外における汚染廃棄物の掘削作業は規定されていないものの、技術委員会において「廃棄物の焼却・溶融施設内作業におけるダイオキシン暴露防止対策要綱」に準じて取り扱われることが決定されました。

そして、ここで働く作業員の

- 1、 作業環境測定結果に基づく健康確保対策
- 2、 「廃棄物の焼却・溶融施設内作業におけるダイオキシン暴露防止対策要綱」に基づく各種対策の検討
- 3、 その他、作業員等の健康管理に関する必要な事項

については、「豊島廃棄物等処理事業健康管理委員会（仮称）」が設けられることとなっております。しかしながらこの委員会はいまだ設置されていません。

一方で、4 月 28 日には掘削現場において自然発火を経験いたしました。一ヶ月を経て 5 月 22 日、性能引渡し試験を明日に控えて「着火原因究明のための現地試験」が行われました。おおよそその着火原因は想定できたものの、防災（火災）には極めて神経質にならざるを得ません。

この発火事故を受けて、5 月 8 日香川県廃棄物対策課と消防署の協議が行われました。

しかし、現段階では豊島廃棄物処理事業の現場における、火災発生時における対応のあり方についても明確にはなっておりません。

4 月 14 日以降およそ一ヶ月、2 千数百トンの廃棄物が搬出され溶融試運転が行われておりますが、明日からの引渡し性能試験では 20 日間のフル操業状態に入ることになります。この時点においても、豊島廃棄物処理事業健康管理委員会（仮称）の設置、及び防災計画の整備の具体的日程は示されておりません。

本格操業はもとより、引渡し性能試験における労働者健康管理、及び火災の未然防止・火災発生時の消防関係者の健康確保の観点から以下に申し入れます。

- 1、 早急に豊島廃棄物処理事業健康管理委員会（仮称）の設置を行うこと
- 2、 早急に防災計画を策定充実させること

アースデイ **かがわ** in **豊島**

2003 **6/8** 10:00~16:00 香川県小豆郡土庄町豊島全域にて
 (日) **— 未来のおとなたちへ —**
EARTH DAY KAGAWA in TESHIMA

講演会マンガで学ぼう! 私たちのエコライフ

今年4月から、試
 験的に廃棄物の運び出しが

不法投棄現場見学会

まりました。今後10年余りに渡って展開される
 処理の経過を見届けるためにも、実際に
 その目で、現場を確かめてください。
 (本部前~現地まで送迎バスあり)

ワークショップマンガをかいてゴミを減らそう

「廃棄物をめぐる社会の仕組み」や「ゴミとラ
 イフスタイルの関係について」などをテーマにした高月
 純先生(京都大学環境保全センター教授)の講演。またワー
 クショップ(子ども30人対象)では、日本漫画家協会会員でもあ
 る高月先生のアドバイスのもと、みんなで意見を出し合いまん画を
 描きながら、ゴミの減量について学びます。ワークショップへの応
 募方法についてはウラ面をご
 らんください。

産直市

豊島産のイチゴ、甘藷、野菜
 、またそれらを材料にしたジュ
 ースや漬け物など、様々な島内
 産品を直売。何が並ぶかは当日
 までのお楽しみ!どれも採れた
 てホヤホヤです。

菜の花バス

菜の花から抽出した油や廃油を原料
 にした再生燃料「BDF」で走るバスが、
 皆さんを乗せて豊島を巡ります。また、
 日本初?菜の花フェリーでクルージン
 ができるかも...!?

メダカの学校

豊島の水路は『メダカの学校』!
 今回は豊島の竹で作った仕掛けを使
 い、ため池の生態を見て楽しめます。

豊島を遊ぼう! 豊島ミニ体験

巻. かずら編み体験...豊島産か
 ずらでかご編みなどに挑戦!
 武. トコロテン体験...トコ
 ロテンを溶かして、つくって食
 べよう!豊島食べ物談義に花
 が咲くよ。
 参. お茶会体験...豊島産の
 お菓子をいただきながら、
 お茶会なんてい
 かが?
 ※いずれも参加
 料が必要です。

そのほかにも...

- 救急テント...軽いケガや体調
 不良といった救急の対応のほか、健
 康診断・健康チェックも行います。
- 地引き罫も予定しています!

主催団体

アースデイかがわin豊島実行委員会

お問い合わせ: 087-832-5188 E-mail: t-net@poem.ocn.ne.jp (豊島ネット事務局内)

てしまで考えよう 未来あるくらし

寒霞溪トラスト (香川県小豆島)

環瀬戸内海会議代表 阿部悦子

何の旅行だっただろう、若い日私は、小豆島の寒霞溪を訪れたことがある。小説「二十四の瞳」のモデルになった岬の分校を見たり、オリーブ園に行ったりしたと思う。どこか旅情を誘う小豆島の名所、寒霞溪を、このところ度々訪れている。豊島の石井亨県議の要請を受けて、ここでの内海ダム建設問題に関わることになったのだ。



巨大ダムがつけられようとしている寒霞溪

このダム計画には、いくつもの問題点がある。高さ 42 メートル、長さ 447 メートルという、四国一の大きさ早浦ダム級の堰堤を造りながら、貯水量は、その 300 分の 1 という効率の悪さ、ダム予定地の直下には集落があり、多くの人が反対をしている点、このダムでは治水効果が疑われる点、水が足りているにも関わらず町が水不足を演出している点など、「ムダな公共事業」の見本のような計画である。

そして、もうひとつ重大な問題がある。寒霞溪は、日本の三大渓谷美のひとつと絶賛される、美しい眺望の観光地である。にも関わらず、内海ダムの巨大なコンクリートの壁が、この渓谷の中央に立ち上がることになるのだ。



何という、もったいないことをするのだろう。観光で生きてきた小豆島である。県も町も、このまま計画を進めるとしたら、正気とは思えない。寒霞溪は正に瀬戸内海の財産であり、日本の財産でもあるのだ。小豆島の価値ある観光地を台無しにするダム計画なのだ。

そこで、環瀬戸内海会議では、全国にトラストを呼びかけることになった。予定地の地権者 7 人の人たちの土地の立木を、1 本 1,500 円で買っていただき、申込者にその所有権を移転するのだ。ダム計画が中止になれば、自動的に立木の権利は地権者に返る。

ふるさとを勇気をもって守ろうとする、これらの人々を応援するためにも、ぜひ寒霞溪トラストのオーナーになってください。(申込先は、環瀬戸内海会議 TEL/FAX 0898-32-9127)



2003年3月30日の札かけ

環瀬戸内海会議第 14 回総会 in 兵庫
 2003 年 6 月 21 日(土)～22 日(日)
「脱埋立宣言」～瀬戸内法、30 年のおごり～
 6月21日午後 1:00 受付開始
 *学習会
 会場 明石市立市民会館第 1・2 会議室
 講演 干潟のはたらき
 講師 佐々木克之(元中央水産研究所)
 *現地見学 明石市 大蔵海岸
 宿舎 国民宿舎「新舞子荘」(兵庫県御津町)
 6月22日午前 9:00～ 環瀬戸内海会議 総会
瀬戸内法改正試案発表
改正に向けての署名、瀬戸内海一斉生物調査の提案
 参加費 約 12,000 円(全日程参加の場合)
 主催 環瀬戸内海会議(TEL/FAX 0898-32-9127)
 6月10日までにお申込下さい。
 共催 播磨灘を守る会 協力 生活協同組合都市生活

6月8日(日) 10:00～16:00
アースデイかがわ in 豊島
 (詳しくは9ページを見て下さい)

長島の自然を守る会 (山口県上関)
6月調査と海藻おしば教室
 海藻の魅力に取り憑かれアートにされた野田先生が「美しさを1人でも多くの人に伝えたい」と多忙な日程を割り、駆けつけて下さいます。自分流の葉書やしおりを作りますませんか? 大人も子供も楽しめます。
 6月14日(土) 9:00～ 調査(上関町長島)
 海藻・海生生物・鳥類・植物・昆虫などの班に分かれ、専門家の指導を受けつつ採取、調査する。
 6月15日(日) 9:30～ 海藻おしば教室
 (上関町中央公民館)
 野田三千代さんのお話を聞き、海藻おしばを作る。

7月 20 日～21 日 <申込締切 7月12日>
長島の自然を守る会 記念講演
 7月20日(日) 9:00～17:00
 ・フィールド観察 ・シーカヤック教室
 7月21日(月・祝) 10:00～15:00
 ・記念講演 (柳井市文化福祉会館)
 ・「瀬戸内法改正プロジェクトと長島」
 青木敬介(播磨灘を守る会)
 申込、問合せ先
 長島の自然を守る会 高島美登里
 〒747-0841 防府市仁井令町 20-11-B101
 TEL 090-9464-6353
 FAX 0835-25-5459
 Eメール midori.t@crocus.ocn.ne.jp



事務局からのお知らせ
 4月の選挙では、代表の阿部悦子(愛媛県議)が再選。2期目も精力的に活動しています。
 6月の総会は、瀬戸内海を守るとても重要な集会成为ります。1日だけでもぜひご参加下さい。事務局 木村伸樹

環瀬戸内海会議へご入会下さい
 年会費 個人 1 口 2,000 円 団体 1 口 5,000 円

ご注意!事務局の電話(FAX)番号が0898-32-9127に変わりました。住所も松山市から今治市へ移りました。

第 1 1 回大規模林道問題全国集会
 日時 2003年6月14日(土)～15日(日)
 場所 山形県長井市
 記念講演 「脱ダム社会について」
 長野県知事 田中康夫氏
 主催 葉山の自然を守る会、
 大規模林道問題全国ネットワーク
 申込・問合せ TEL/FAX 0238-85-0393 (新野)

大分県佐伯市大入島の埋立予定地
 (佐伯の自然を守る会から最近の写真が届きました)
 今年1月埋立免許。その後漁業補償が組合員に支払われるなど手続きが進んでいるとのこと。厳しい状況ですが、ご支援下さい。

